

親子聖書日課

[日]福音の中心は、主の十字架と復活ですが、復活について疑う人がいました。そこでパウロは主の復活は空想話ではなく、確かな事実であることを示すために、500人以上の目撃者(自分もその一人)を記しました。事実は小説より奇なりです。

[月]もし、主の復活がなければ、クリスチャンは世界で最も不幸な人です。主のために捧げた時間もお金も全く無駄になるからです。「しかし、実際、キリストは死者の中から復活した」ので、世界一幸せな人になりました。復活の主を信じましょう。

[火]主は復活することによって死を滅ぼし、信じる者に復活の命を与えました。私達は一度、肉体の体は死にますが、主の再臨の時、霊の体に復活するのです。ですから、死が近づいてきてもうろたえません。天国を目指して、主の業に励みます。

[水]「献金は示された時、自由に捧げます」という人がいますが、それでは長続きしません。「各自収入に応じて」その十分の一を初穂として捧げ、又主日ごとに感謝と献身の印として捧げましょう。忠実に天に宝を積むなら、人生は祝福されます。

[木]苦難に遭うのは、悪い事ばかりではありません。主から慰めを頂くことができますし、その慰めをもって、苦しみ、に遭った人を慰めることができます。そして、頼れるのは、自分ではなく、神であると教えられます。ですから、苦難も感謝できるのです。

[金]パウロはコリント教会を責めすぎたのではないかと心を痛み、「涙の手紙」で真意を伝えました。愛は厳しさだけでは伝わりません。「涙ながらに手紙を書く」情感溢れた思いやりが、相手の心を打ちます。伝道は、メールより、涙の手紙が必要です。

[土]「あなたそれでもクリスチャン？」と言われる時、クリスチャン臭い生き方をしています。主の証人として失格です。「私達はキリストによって神に献げられる良い香りです」人があなたを見て、「クリスチャンになりたい」と言われる人になりましょう。



NO.1980 2026.9/6-12

名前

	聖書	問題	答え
日	I コリント 15:1-11	最も大切なことは、キリストが死んで葬られ、どうなったことですか。	
月	15:12-34	キリストが復活しなかったのなら、宣教や信仰はどうでしたか。	
火	15:35-58	動かされないように、しっかり立ち、何に常に励むべきですか。	
水	16:1-24	週の初めの日にはいつも何に応じて、手元において献金すべきですか	
木	II コリント 1:1-11	神はあらゆる苦難に際して、私達をどうしてくださいますか。	
金	1:12-2:4	私は悩みとうれいに満ちた心で、どのように手紙を書きましたか。	
土	2:5-17	私達はキリストによって神に献げられる何ですか。	
感想と祈りの課題			

